

令和 7 年度 第 8 回

宍粟市教育委員会

会 議 録

(要点筆記)

日時 令和 7 年11月14日 午前 9 時から

場所 一宮市民協働センター ホール

第8回（定例）宍粟市教育委員会会議録

● 開会・閉会の年月日時及び場所

令和7年11月14日（金） 午前9時～9時50分

兵庫県宍粟市一宮町安積1347番地3 一宮市民協働センター ホール

● 会議に出席した者の職氏名

教育委員

中田直人 教育長

片山繁樹 委員

柴山佑太 委員

中川まゆみ 委員

平田恵子 委員

事務局

大砂正則 教育部長

大谷哲也 次長兼教育総務課長

川本正史 こども未来課長

大田貴久 施設整備課長

水口恵子 次長兼人権推進課長

鳥羽千晴 教育部次長

中田 吏 学校教育課長

清水将道 社会教育文化財課長

大北真彰 山崎学校給食センター所長

岩本浩二 教育総務課副課長

1 開会

中田教育長が開会した。

2 会議の成立宣言

出席者数4名となり、中田教育長が会議の成立を宣言した。

3 会議録署名委員の指名

署名委員は、中田教育長の指名により、中川委員に決定した。

4 前回会議録の承認

令和7年度第7回（定例）宍粟市教育委員会会議録の承認に関する件
前回の会議録について、大谷次長兼課長が説明し、承認された。

5 教育長報告

次の3点について、中田教育長が報告した。

（1） 12月議会に上程する補正予算及び条例制定・改正について

12月議会に上程する補正予算案及び条例制定・改正に係る案について、このあと各担当から説明しますので、ご審議願います。

(2) 第4回しそ教育創造フォーラムについて

第1回が小中一貫教育、第2回が学力向上、第3回が学校と地域との連携・コミュニティースクールについてそれぞれフォーラムを開催してきましたが、第4回は、幼児教育をテーマに開催しました。フォーラムについてのご意見等がありましたら聞かせていただければと思います。

(3) 人権教育実践発表会（学校教育の部）の開催について

この度、西播磨地区人権教育研究協議会「西人協」と言われている協議会ですが、この協議会から指定があり、11月20日に学校教育の部の実践発表会を行います。また、2月15日には社会教育の部の実践発表会を行います。それぞれ委員の皆さまのご都合があれば、出席願います。

6 議事

議事に入る前に、中田教育長から、第4号及び第6号から第9号までの議案については、議会提案前の内容で意思形成の中立性の観点等から非公開としたい旨の説明があり、委員全員「異議なし」であったため、非公開審議と決定した。なお、第4号及び第6号から第9号までの議案の審議は、「7 協議報告事項」の終了後、行うこととした。

第5号議案 令和8年度宍粟市立学校教職員の人事異動方針（案）について

資料3～4Pにより、令和8年度宍粟市立学校教職員の人事異動方針の案について、中田課長が説明した。

審議の結果、第5号議案は、提案どおり可決した。

委員の主な意見及び事務局の説明

(中田教育長)

来年度以降に検討いただきたいと思いますが、3番の(3)④「学校規模適正化については、今後予想される過員状況への対応及び学校運営の状況を考慮し、円滑な配置転換を図る。」とありますが、対外的には、宍粟市では令和7年度の山崎南小学校の開校をもって学校規模適正化は終了したという位置づけですので、これは、将来的にあるかもしれない学校の統合や給食センターの集積などに関連しての養護教諭・栄養教諭・事務職員などのことを視野に入れての方針でしょうか。

(中田課長)

作成の段階で「学校規模適正化」の文言については考慮したのですが、この「学校規模適正化」の文言につきましては、宍粟市で学校規模適正化の議論をする前からこの方針に含まれておりました。一般的な話として例年含んでいるようであり、今回もそれを踏まえ記載しているところです。

(中田教育長)

学校の統合があった場合などに過剰な状況が生じては困るということでしょうか。そういった場合は他市町との異動や高等学校との交流等が必要になってくるということ

すね。わかりました。

7 協議報告事項

(1) 部活動地域展開フォーラムについて

38～41 Pにより、中田課長が説明した。

(2) 令和7年度全国学力学習状況調査について（広報しそう）

42～43 Pにより、中田課長が説明した。

(3) 令和8年二十歳の祝典について

44～46 Pにより、清水課長が説明した。

(4) S1グランプリ2025表彰式&米良美一さん朗読会

47 Pにより、水口次長兼課長が説明した。

(5) その他

なし

委員の主な意見及び事務局の説明

(中田教育長)

全国学力学習状況調査の関係で42ページになりますが「調査問題に対する無回答率が全国平均と比べて低い」とあります。この無回答率の部分が、宍粟市の長年の大きな課題でありまして、例えば少し難しい問題は避けて次の問題に進んでいるのか、それとも最初から順に解いていき最後のほうで時間切れのため無回答になっているのか、そういった課題がありましたが、今回の調査では、全国平均と比べこれが少なくなったということで大変意義があることだと思っています。こういった部分はいくら言葉で伝えても身につにくいものですが、普段の授業から粘り強さとか、諦めないとか、わからないことをそのままにしないと取り組んでいただいていることが成果として表れてきているのだと思います。

次に43ページの左下の国語の状況の推移について、令和4年度に小学校6年生、令和7年度に中学校3年生となっている子どもの調査結果ですが、6年生時点と比較し、プラス5ポイントなっています。この学力調査で5ポイント上昇するのは、本当に大きな成長だと思います。

最後に43ページの右側の意識調査についてですが、宍粟の教育で大切にしている部分、自分は頑張ったらできるとか、自分には良いところがあるという自己を肯定する気持ちなど、そういった部分を意識して取り組んだ結果が表れてきていると思います。一方で、家庭学習とか読書時間については低いところがあります。

42ページの左下に今後の重点方策を掲載していますが、第1のハードル「自尊感情」については先ほどのとおりクリアできてきていますが、次の第2のハードル「学習習慣」

について、保護者等の協力も得ながら習慣づけに取り組んでいく必要があると思います。

●非公開議事

「6 議事」の第4号議案及び第6号議案から第9号議案までの審議に入る。

第4号議案 令和7年度宍粟市一般会計補正予算（教育委員会関係、12月議会上程）案
について

[Redacted content]

第6号議案 宍粟市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について

[Redacted content]

第7号議案 宍粟市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

[Redacted content]

第8号議案 宍粟市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について

[Redacted content]

第9号議案 宍粟市立保育所条例の廃止について

[Redacted content]

8 次回会議の招集について

令和7年12月17日（水）午前10時30分から、宍粟市役所4階会議室において、令和7年度第9回宍粟市教育委員会を開催することとした。

9 閉会

中川委員が閉会した。